

2019年11月改訂  
2017年9月作成

動物用医薬品

承認指令書番号	30動薬第2550号
再審査結果	1995年3月

貯法	気密容器、室温保存
----	-----------

アミノグリコシド系抗生物質製剤

劇薬 要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

# 動物用ゲンタリン細粒

GENTALYN

## 【本質の説明又は製造方法】

ゲンタマイシンは、シェリング・プラウコーポレーションが開発したアミノグリコシド系抗生物質で、種々のグラム陽性菌及びグラム陰性菌に抗菌活性を発揮する。本剤は、大腸菌、サルモネラによる子牛・子豚の細菌性下痢症に優れた効果を示す。

## 【成分及び分量】

品名	動物用ゲンタリン細粒
有効成分	ゲンタマイシン硫酸塩
含量	1包(3.0g)中にゲンタマイシン硫酸塩を50mg(力価)含有する。

## 【効能又は効果】

有効菌種：大腸菌、サルモネラ

適応症：子牛の細菌性下痢症

子豚の細菌性下痢症

## 【用法及び用量】

牛(生後3月を超えるものを除く。)：

1回体重1kg当たり本剤60mg〔ゲンタマイシン硫酸塩として1.0mg(力価)〕  
を代用乳又は水に溶かし、1日2回、3日間経口投与する。

豚(生後4月を超えるものを除く。)：

飲水4L当たり本剤を1.5g〔ゲンタマイシン硫酸塩として25.0mg(力価)〕の  
割合に均一に溶かし、3日間経口投与する。

## 【使用上の注意】

(基本的事項)

### 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与は避けること。
- ・本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。
- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物〔牛（生後3月を超えるものを除く。）〕、豚（生後4月を超えるものを除く。）〕について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

牛（生後3月を超えるものを除く。）：食用に供するためにと殺する前30日間  
豚（生後4月を超えるものを除く。）：食用に供するためにと殺する前17日間

（取扱い及び廃棄のための注意）

- ・ 小児の手の届かないところに保管すること。
- ・ 開封後は速やかに使用すること。
- ・ 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・ 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・ 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・ 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・ 誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・ 作業時には、防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないよう注意すること。

（牛及び豚に関する注意）

- ・ 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【薬理学的情報等】

（薬効薬理）

有効成分であるゲンタマイシンは、細菌のたん白質合成阻害により殺菌的に作用し、黄色ブドウ球菌、緑膿菌を含むグラム陰性桿菌にすぐれた抗菌力を示す。

【包 装】

150g (3.0g×50分包)

【製品情報お問い合わせ先】

MSDアニマルヘルス株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北一丁目13番12号

TEL 03-6272-1099 FAX 03-6238-9080

製造販売元

MSDアニマルヘルス株式会社  
東京都千代田区九段北一丁目13番12号



獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所

(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。